

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 今田 裕志

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	48,037	0.3	2,314	54.2	1,437	22.8	213	95.7
22年3月期第3四半期	47,896	17.9	1,501	22.2	1,170	244.4	4,909	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	4.57	
22年3月期第3四半期	105.17	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	95,755	25,004	25.4	520.35
22年3月期	101,730	27,322	26.0	566.05

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 24,284百万円 22年3月期 26,420百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		3.75		3.75	7.50
23年3月期		3.75			
23年3月期 (予想)				3.75	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	4.8	2,900	46.3	1,600	201.4	200	96.3	4.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]3ページ「2.その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名 )、 除外 社 (社名 )

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 49,209,846株 22年3月期 49,209,846株

期末自己株式数 23年3月期3Q 2,540,186株 22年3月期 2,534,501株

期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 46,673,037株 22年3月期3Q 46,678,480株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]2ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. (参考) 四半期個別財務諸表 .....	9
(1) 四半期貸借対照表 .....	9
(2) 四半期損益計算書 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績等に一部改善の兆しが見られ始めたものの、依然として雇用環境の低迷や個人消費マインドの停滞などによりデフレが進行し、不安定な世界経済や円高の影響も加わり、経営環境は不透明な状況にありました。

住宅業界におきましては、住宅版エコポイント制度・各種補助金制度の利用促進、住宅ローン減税・金利の引き下げ等が影響して持家・分譲戸建が増加傾向にあり、新設住宅着工総戸数は、前年同期を上回りましたが、本格的な住宅需要の回復には至らず、依然として引き続き厳しい事業環境で推移しました。

当社グループは、住宅建材設備事業として、ジュピーノシリーズを中心に木質感溢れる内装建材により建材からキッチンまで室内のトータルコーディネートを提案し、新しい顧客・新しい市場・新しい商品開拓と需要創造を推進しています。ジュピーノシリーズは、森林認証( )を取得したニュージーランドの森林資源を主に活用しており、平成22年10月に施行された木材利用促進法の基準を満たした認証製品を順次出荷しています。

当第3四半期連結会計期間は、第2四半期連結累計期間に引き続き地域工務店を対象に、国の様々な住宅施策の周知徹底と当社グループが提案する高性能住宅化の促進及び商品展開のための「住宅セミナーイベント」を全国各地での開催や、「転ばぬ先のリフォーム提案」によるリフォーム需要の喚起を行っています。また、地域工務店の事業資金確保のためのスキームを構築する等のサポート業務を拡大し、国が進めている「長期優良住宅」の普及促進に引き続き努めています。

また、これまで発売した「シンプルセレクション」に新柄・新デザインの投入、「ジュピーノウづくりシリーズ」と「無垢ルーバークローゼット」の品揃えの拡大、耐傷性を高めたニュージーランドの認証基材を使用した環境配慮型の新型フローリングの拡販に努めています。

さらに、当社グループは、ニュージーランドにおいて排出権を取得しており、この一部売却を行っています。

当第3四半期連結会計期間には、短納期で内装ドアや引き戸などのサイズ特注に1mmピッチで対応する「カスタムオーダー」を販売開始し、リフォーム時の現場に合わせた寸法や新築時の空間設計に合わせた理想の寸法をお客様がオーダーされることを可能としました。

当社グループは、厳しい経済情勢及び業界動向の中このような施策を行い、拡販やコスト削減などに努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、48,037百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益2,314百万円(前年同四半期比54.2%増)、経常利益1,437百万円(前年同四半期比22.8%増)、四半期純利益213百万円(前年同四半期比95.7%減)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間の売上高は、17,101百万円(前年同四半期比5.1%増)、営業利益1,279百万円(前年同四半期比4.0%増)、経常利益1,220百万円(前年同四半期比16.7%減)、四半期純利益674百万円(前年同四半期比47.4%減)となりました。

( ) 国際的な審査機関F S C (森林管理協議会)のF M認証(森林管理認証)とC o C認証(加工・流過程の管理認証)の総称

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が5,974百万円減少、負債が3,656百万円減少、純資産が2,317百万円減少しました。主な内訳科目として、資産の減少は、現金及び預金の853百万円減少、棚卸資産1,406百万円減少、有形固定資産の3,558百万円減少によるものです。負債の減少は、社債償還による3,000百万円減少、借入金の1,774百万円減少とその他(流動負債)に含まれる為替予約の1,197百万円増加によるものです。純資産の減少は、主に利益剰余金の137百万円減少、繰延ヘッジ損益の686百万円減少、為替換算調整勘定の1,242百万円減少によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を検討した結果、現時点においては平成22年11月5日付け「平成23年3月期 第2四半期決算短信」にて発表しました業績予想からの変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

##### 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっています。

##### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

##### 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しています。

#### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、営業利益、経常利益に与える影響はなく、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は軽微であります。

#### 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,715	6,569
受取手形及び売掛金	8,377	8,153
商品及び製品	4,884	5,306
仕掛品	2,408	2,575
原材料及び貯蔵品	6,667	7,485
その他	1,577	1,421
貸倒引当金	71	64
流動資産合計	29,560	31,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,113	10,883
機械装置及び運搬具(純額)	9,221	10,660
土地	11,260	11,430
立木(純額)	19,425	20,631
その他(純額)	2,349	2,323
有形固定資産合計	52,370	55,929
無形固定資産	625	677
投資その他の資産	13,199	13,676
固定資産合計	66,195	70,283
資産合計	95,755	101,730
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,834	5,036
短期借入金	33,740	24,118
1年内償還予定の社債	6,000	3,000
未払法人税等	98	104
引当金	8	251
その他	7,132	5,917
流動負債合計	51,813	38,427
固定負債		
社債	3,000	9,000
長期借入金	13,291	24,687
引当金	1,084	918
その他	1,561	1,373
固定負債合計	18,938	35,980
負債合計	70,751	74,407

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,816	7,816
利益剰余金	14,520	14,657
自己株式	2,129	2,128
株主資本合計	27,531	27,670
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154	86
繰延ヘッジ損益	2,332	1,646
為替換算調整勘定	759	483
評価・換算差額等合計	3,246	1,249
新株予約権	212	196
少数株主持分	507	704
純資産合計	25,004	27,322
負債純資産合計	95,755	101,730

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	47,896	48,037
売上原価	32,583	32,084
売上総利益	15,312	15,952
販売費及び一般管理費	13,811	13,637
営業利益	1,501	2,314
営業外収益		
受取利息	19	16
受取配当金	28	29
受取賃貸料	-	144
為替差益	732	-
排出権収入	-	210
その他	368	211
営業外収益合計	1,148	611
営業外費用		
支払利息	814	765
売上割引	346	334
為替差損	-	119
シンジケートローン手数料	226	143
その他	91	125
営業外費用合計	1,479	1,489
経常利益	1,170	1,437
特別利益		
固定資産売却益	4	75
為替差益	5,955	-
役員退職慰労引当金戻入額	132	-
その他	12	10
特別利益合計	6,105	85
特別損失		
固定資産売却損	66	4
固定資産除却損	7	8
為替差損	-	113
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	-	4
リコール損失	12	-
その他	5	44
特別損失合計	91	174
税金等調整前四半期純利益	7,183	1,347
法人税、住民税及び事業税	43	122
法人税等調整額	2,345	984
法人税等合計	2,389	1,107
少数株主損益調整前四半期純利益	-	239
少数株主利益又は少数株主損失( )	115	26
四半期純利益	4,909	213

(第3四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	16,271	17,101
売上原価	10,884	11,308
売上総利益	5,386	5,792
販売費及び一般管理費	4,156	4,512
営業利益	1,230	1,279
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	9	9
為替差益	460	46
排出権収入	-	155
その他	186	129
営業外収益合計	656	345
営業外費用		
支払利息	270	255
売上割引	121	122
その他	29	27
営業外費用合計	421	405
経常利益	1,465	1,220
特別利益		
固定資産売却益	2	-
貸倒引当金戻入額	-	2
為替差益	609	-
役員退職慰労引当金戻入額	111	-
受取保険金	-	5
その他	10	0
特別利益合計	732	7
特別損失		
固定資産売却損	48	4
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損	0	-
リコール損失	1	-
その他	0	0
特別損失合計	51	7
税金等調整前四半期純利益	2,146	1,221
法人税、住民税及び事業税	25	25
法人税等調整額	750	458
法人税等合計	776	484
少数株主損益調整前四半期純利益	-	737
少数株主利益	87	62
四半期純利益	1,282	674

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期個別財務諸表

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,866	3,098
受取手形及び売掛金	6,598	6,011
商品及び製品	3,729	3,722
仕掛品	1,327	1,303
原材料及び貯蔵品	3,819	4,157
その他	7,057	7,733
貸倒引当金	28	19
<b>流動資産合計</b>	<b>24,369</b>	<b>26,007</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,812	5,069
機械装置及び運搬具(純額)	1,604	1,908
その他(純額)	9,538	9,700
<b>有形固定資産合計</b>	<b>15,955</b>	<b>16,677</b>
無形固定資産	527	554
投資その他の資産	32,699	32,786
<b>固定資産合計</b>	<b>49,183</b>	<b>50,018</b>
<b>資産合計</b>	<b>73,553</b>	<b>76,025</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,890	4,140
短期借入金	22,044	12,333
1年内償還予定の社債	6,000	3,000
未払法人税等	61	91
引当金	-	217
為替予約	1,730	996
その他	2,247	2,319
<b>流動負債合計</b>	<b>35,973</b>	<b>23,099</b>
<b>固定負債</b>		
社債	3,000	9,000
長期借入金	3,782	12,479
引当金	1,073	907
その他	751	942
<b>固定負債合計</b>	<b>8,606</b>	<b>23,329</b>
<b>負債合計</b>	<b>44,580</b>	<b>46,429</b>

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	16,244	16,645
自己株式	2,129	2,128
株主資本合計	29,254	29,657
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	185	121
繰延ヘッジ損益	308	135
評価・換算差額等合計	494	257
新株予約権	212	196
純資産合計	28,972	29,596
負債純資産合計	73,553	76,025

(2) (参考) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	40,808	41,008
売上原価	29,039	29,588
売上総利益	11,769	11,420
販売費及び一般管理費	10,604	10,496
営業利益	1,165	923
営業外収益		
受取利息	57	76
受取配当金	425	321
仕入割引	36	38
受取賃貸料	128	112
その他	187	141
営業外収益合計	835	690
営業外費用		
支払利息	310	359
社債利息	236	199
売上割引	326	326
その他	255	248
営業外費用合計	1,128	1,133
経常利益	872	480
特別利益		
固定資産売却益	3	66
役員退職慰労引当金戻入額	111	-
その他	8	6
特別利益合計	122	73
特別損失		
固定資産売却損	57	0
固定資産除却損	7	6
為替差損	754	442
その他	4	38
特別損失合計	824	487
税引前四半期純利益	170	66
法人税、住民税及び事業税	52	52
法人税等調整額	85	63
法人税等合計	33	116
四半期純利益又は四半期純損失( )	204	50